

すえひろ

令和5年度

笑・楽・校

泉佐野市立末広小学校

学校だより

令和6年3月15日

最終号 卒業式 Ver.

20日の春分の日を間近にし、めっきり春らしい季節になってきました。暖かさも少しずつ増し、本格的な春がもうそこまでやって来ています。校庭の桜も間もなく開花となりそうです。卒業生の保護者のみなさま、そして地域のみなさまには、これまでの末広小学校の教育活動への深いご理解と多大なるご支援に感謝申し上げます。

時間が経つのは早いもので、あの時、校長として赴任し、みなさんと出会ってから4年の歳月が流れました。令和2年3月の突然の学校閉鎖、そして2カ月遅れての始業式などを経験しました。度重なる制約の中でも、子どもたちの力を信じ、教育活動を少しずつ前進させたことで、子どもたちの成長を強く感じる事ができました。特に、昨年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、季節性インフルエンザと同じ5類に移行され、最高学年としての6年生は学年集団を意識し、下級生のことも考えた活動を行っていました。末広小学校のために存分に力を発揮していました。卒業生のみなさんは、春から中学生になりますので、少しだけ肩の力を抜いて、伸び伸びとした新生活を楽しんでほしいと願っています。



卒業証書授与式

本日はお子さまのご卒業、おめでとうございます。この6年間で立派に成長されたお子さまの姿をご覧になり、さぞかし感慨もひとしおのものがおありかと拝察いたします。卒業生全員が、「思い出に残る卒業式」とするため、日々準備を進めてまいりました。今日の日に向けて本当に頑張ってきました。「卒業おめでとう」の言葉の後に「よくがんばったね」の言葉をかけてあげてください。6年間、保護者のみなさまから本校に寄せられた温かいご支援・ご協力に対しまして、心から感謝とお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。



卒業式では、式辞の中で紹介しましたが、アルベルト・アインシュタインさんの言葉は、次の通りです。

人生には、二つの道しかない。

一つは、

奇跡などまったく存在しないかのよう
に生きること。

もう一つは、

すべてが奇跡であるかのよう
に生きることだ。

卒業生のみなさんの末広小学校での友だちとの出会い。地球上の80億人のうちの一人と出会った奇跡を大切にしてほしいと思います。中学校でも、「笑顔」を忘れず、「元気」に活躍してくれることを期待しています。



みなさんのがんばりをずっと応援します。